

苛斂誅求(カレンチュウキユウ)税金をむごく取り立てることを言う。

夏炉冬扇(カロトウセン)夏の火鉢、冬の扇、つまり“時節に合わない無用の長物”の意に用いる。

侃侃諤諤(カンカンガクガク)侃はことばの強く正しいこと。諤は卒直に言うこと。正しいと思うことを直言することだが、よく誤ってケンケンガクガクと言われる。

汗牛充棟(カンギユウジュウトウ)蔵書の多いことを言う。重さは牛も汗をかくほどで、かさは棟(むね)につかえるほどあるという意味。

換骨奪胎(カンコツダツタイ)古人の詩文の語句や構造に手を入れて一部を変え、これを自分の作品にすることを言

う。

冠婚葬祭(カンコンソウサイ)元服と婚礼と葬儀と祖先の祭典。慶弔の儀式を言う。

頑迷固陋(ガンメイコロウ)頑固で、見聞が狭く、古くさいこと。

旗幟鮮明(キシセンメイ)幟は合戦のとき、自分の存在を明らかにする旗じるし。転じて、表だって示す主張や立場を明らかにすることに用いる。

疑心暗鬼(ギシンアンキ)疑う心が起こるとありもしない鬼が見えてくるように、何でもないことでも、疑い出すと恐ろしくなることを言う。

氣息奄奄(キソクエンエン)息も絶え絶え、今にも死にそうな様子を言う。

教唆煽動(キョウサセンドウ)おだてそそのかして、ある行動を起こすようにしむけること。煽は扇で火をあおぐこと。当用漢字にないので“扇動”と使う。

行住坐臥(ギョウジュウザガ)日常の行為。転じて“日常”“平生”の意味に使う。

驚天動地(キョウテンドウチ)天を驚かし、地を動かすほどの大事件という意味。

曲学阿世(キョクガクアセイ)学問(真理)を曲げて世の人の気に入るような説を唱えること。阿はおもねる。世におもねる。